

令和2年度第3回下野市総合計画審議会 議事録

審議会等名 令和2年度 下野市総合計画審議会
日 時 令和2年7月29日(水) 午前9時30分から午前11時30分まで
会 場 下野市役所 3階 303、304会議室
出席者 坂村哲也委員、伊藤陽一委員、石川信夫委員、佐間田香委員、伊澤健二委員、
中村祐司委員、佐藤司郎委員、川中子幹彦委員、大島雅之委員、川俣一由委員、
諏訪守委員、小幡洋子委員、渡邊喜正委員、川田光一委員、小暮泉委員、
木村保弘委員、近藤勘偉委員、新海将綱委員、前原保彦委員

【欠席委員】

江田俊夫委員、小池裕昭委員、山口貴明委員

市側出席者 小谷野総合政策部長、梅山総務部長、手塚健康福祉部長、栃本産業振興部長、
瀧澤建設水道部長、清水教育次長

(事務局) 福田総合政策課長、荻原課長補佐、甲田主査、菊地主事
ランドブレイン(株)

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 なし

報道機関 なし

議事録(概要) 作成年月日 令和2年7月30日

【協議事項等】

1 開 会

(事務局) 令和2年度第3回下野市総合計画審議会を開催する。

2 あいさつ

(事務局) はじめに会長からごあいさつをいただきたい。

(中村会長) コロナの問題で、大学でも人と接することができず、学生も学内に入ることができなくなっている。IT技術を使って、当初はよかったが、モニターだけで接することの問題も感じている。こうやって会議を持てて良かったと感じている。本日もよろしくお願ひいたします。

3 進行について

(事務局) 総合計画審議会条例第6条の規定により、会長が議長となるので、この後の議事進行を中村会長に願ひする。

4 会議成立、会議傍聴の確認

(中村会長) 会議成立、会議署名人、会議傍聴の確認を行う。

本日の欠席委員は3名であり、委員定数22名のうち過半数以上の委員が出席しているため、会議は成立となる。

会議署名人を指名する。

今回会議の会議録署名人には、名簿順により石川委員、佐間田委員に願ひ

する。

本日の会議傍聴については、新型コロナウイルス感染症予防対策として、傍聴は制限し、会議録の公表によって情報を公開することとしてよろしいか。

[出席委員異議なし]

5 議 事

(1) 第2回議事録の確認について

〈中村会長〉 議事に移るにあたり、事務局より資料の確認を求める。

〈事務局〉 手元に会議次第と前回議事録があるので確認願いたい。本日2部制になっており、第1部は後期基本計画の資料を使うため、用意願いたい。後半は総合戦略の審議となり、資料は事前配布しているが、後半改めて確認する。資料確認は以上となる。

〈中村会長〉 議題の1、前回議事録の確認を事務局に説明願いたい。

〈事務局〉 会議録について、事前に各委員に郵送し、確認いただいている。内容について、一部修正があったため、本日修正した物を配布している。3枚目冒頭の建設水道部長の回答で、「長寿命化計画を作り、毎年度見直し、財源を検討」となっていたところを、「長寿命化計画に基づく修繕計画を毎年度見直ししつつ、財源の確保にも努めたい」と修正した。本日修正なければ署名をいただき確定したい。

〈中村会長〉 会議録についていかがか。

[出席委員異議なし]

〈中村会長〉 会議録を確定し、次の議題に移る。

(2) 第二次下野市総合計画後期基本計画 施策目標4について

(3) 第二次下野市総合計画後期基本計画 施策目標5について

(4) 第二次下野市総合計画後期基本計画 施策目標6について

〈中村会長〉 次の議題は、事務局説明含め60分程度を予定としたい。後期基本計画の施策目標4から6について、事務局より説明を求める。

〈事務局〉 第二次下野市総合計画後期基本計画（案）基本目標4から6について概要説明。

〈中村会長〉 それでは基本施策について順番に意見伺っていききたい。施策4-1について意見等あるか。

〈川中子委員〉 農協からの選出なので、ここで話しておきたい。認定農業者は所得580万円以上を目標にすとなっている。見合った作物を作っているが、難しい状況である。施策に認定農業者イコール地域の担い手とある。認定農業者には別個で補助制度などもあり優遇されているが、補助の審査が厳しく、申請者の意欲を削ぐ事にもなりかねないので、国、県と連携し、要件を緩和する施策を検討してもらいたい。

- 〈中村会長〉 ご意見として受け取る。
- 〈前原委員〉 83ページ最下部に「協働のまちづくりのための取組」があるが、学校関係者は「消費者」の中に含まれているのか。
- 〈産業振興部長〉 大きな意味では給食などで学校関係者も含まれている。
農畜産物のブランド化支援の一環として、地場もの野菜を給食などに供給している。近年では地域性を出すためかんぴょうに特化した支援を行っている。今後も更に支援を進めたい。
- 〈新海委員〉 82ページ「指標」の「新規就農者数（年間）」が令和元年現状値で11人、令和7年目標値では10人で減となっているが、どのように計画しているか。スマート農業などの事例で人員を削減したのも見られるが、農業のデジタル利用は他分野と比べ遅れているとも聞く。
市としては10人という目標値がどのような考えによるものか教えていただきたい。
- 〈中村会長〉 10人の数でなくその中身ということだが、いかがか。
- 〈産業振興部長〉 AI化など新たな農業の取り組みについては国なども補助を行っている。新規就農者についてはとらえ方もあるが、新たな農業経営者として独立する方のほか、農業形態に就職する方も新規就農者として計算している。
その中で現状11名となっているが、高齢化や人口減少といった流れの中で、現状維持をしていくことは非常に難しくなっているため、現状から下げない事を一つの大きな目標としている。
- 〈中村会長〉 施策4-2について意見等あるか。
- 〈坂村委員〉 教育分野でも話したが、コロナによって状況も変わっているため、文章に経営状況が回復の兆しなどとあるが、明らかに厳しい状況となっている。
また、4-3もそうだが、イベントのあり方も変わらと思うので、それらをふまえた書き方でもいいのでは。
意見として受け取っていただきたい。
- 〈産業振興部長〉 ご指摘のとおりコロナの関係で商工関係を取り巻く環境が著しく変わっているのは承知しているところである。
計画を作る段階では、昨年度産業振興計画を策定し、アンケート調査を令和元年11月に実施した。
現状とは状況が異なる記載もある。計画策定にあたっては、これらも考慮し取り組んでいきたい。
計画については新型コロナを十分に留意しつつも、長期的な見通しのもと、どのような記述が望ましいか検討したい。
- 〈中村会長〉 方法などについては実施計画などでその都度反映していくということによいか。
- 〈産業振興部長〉 そのように考えている。
- 〈総合政策部長〉 施策1-1の「いきいき暮らせる健康づくり」で、主な事業内容「新型コロナウイルス感染症等への対策」の2番目に「新たな感染症等への対応指針の策定と実施」ということで、全課においてどう対応、施策実施していくかというところを記載したところである。
各部門において影響が大きいところだが、大きな流れはここでまとめさせて

いただいている。

- 〈佐間田委員〉 アンケートで経営状況が黒字との回答が5年前と比べ、10%増加とあるが、これは経済の流れなのか、それともアンケートの中に「これが良かった」「これで黒字になった」などでできたのか。
- 〈産業振興部長〉 市内立地企業にアンケートを実施したものであり、個別でどのように経営状況がよくなったかという事は掌握しておらず、あくまで全体的な結果である。ご質問にあったように経済的な流れにより生じたものだとは言えると考えられる。
- 〈中村会長〉 施策4-3で意見等あるか。
- 〈川俣委員〉 「下野燈桜会」と「東の飛鳥」は新たに始まった事業なので、一口メモに入れていいのでは。逆に「観光まちづくり」はある程度続けているので、外してもいいのでは。このあとにもあるが、そのあたりを考えて作成していただきたい。
- 〈事務局〉 ご意見参考にさせていただき、担当課と調整したい。
- 〈中村会長〉 事務局はよろしくお願ひしたい。
次に施策5-1で意見あるか。
〔意見無し〕
- 〈中村会長〉 施策5-2で意見等あるか。
- 〈坂村委員〉 スマートICについて利点などを言ってもいいのでは。また、交通環境づくりとして交通事故対策を盛り込んでもいいのでは。意見として受け取ってもらいたい。
- 〈中村会長〉 担当はいかがか。
- 〈建設水道部長〉 交通安全政策についての書き加えであろうと思われるが、取り組みなどに含める事も出来ると思うので、あり方を検討したい。スマートICについてもメリットを表記加えていきたい。
- 〈中村会長〉 施策5-3で意見等あるか。
- 〈坂村委員〉 続けて申し訳ないが、上下水道について、災害時に安心して利用できるということを表記してもらいたい。
- 〈建設水道部長〉 重要なインフラなので、関心高いところだと思われる。
95ページ一番下で、「協働のまちづくりのための取組」に「応急対策活動の実施に関する協定の実施」とあるが、これは下水についての特記で、災害時には人材や資材の提供を受けるという協定である。
併せて上水道にも協定を結んでいる企業もあるので、連携が取れているところを記載するのは可能である。
- 〈中村会長〉 施策6-1で意見等あるか。
- 〈総合政策部長〉 一点訂正したい。指標に「市民活動センターの設置」とあるが、指標としてはそぐわないので、文章中に盛り込み、削除させていただきたい。
- 〈中村会長〉 了解したが、設置はするということでもいいのか。
- 〈総合政策部長〉 令和4年度オープンを目標に、現在の生涯学習情報センターへ設置を進めている。次ページの事業内容の「協働のまちづくりの推進」の中には、「市民活動センターの設置」として盛り込んでいるところである。
- 〈中村会長〉 では施策6-2に入る。

前の施策でもよいが、意見等あるか。

〔意見無し〕

(中村会長) 新型コロナへの対応をしつつ、財政運営も考えていかなければならない。自治体は頑張ってくれているが、出た意見の対応については検討していただきたい。後期基本計画の審議内容は以上となる。

(事務局) 今後の予定について連絡する。
次の審議会を10月頃予定している。審議会から答申書を市長へ提出していただきたい。その際意見交換会の場を設けるのでよろしくお願ひしたい。答申書については、今後会長に一任いただいて進めさせていただきたい。完成した時には、委員の皆様へ郵送でお示しする。

〔休憩〕

(5) 総合戦略における令和元年度の進捗状況管理について

(中村会長) 佐藤委員は所用で退席した。
事務局より資料の確認をお願いする。

(事務局) 資料確認

資料1 推進体制図

資料2 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI進捗状況一覧表

資料3 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括評価報告書

資料4 地方創生交付金活用事業

資料4参考資料 地方創生関連交付金活用事業について

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和元年10月改訂版

(中村会長) 議題(5)について、事務局から説明をお願いする。

(事務局) まち・ひと・しごと創生総合戦略について説明
資料に基づいて説明(資料1、資料2、資料3)

(中村会長) 資料1から3まで。

資料2・3についてD評価となっているKPIは事情をお聞きしたい。

(産業振興部長) 9番 近隣市町等との共催による合同説明会の開催は、資料の3で詳細に説明している。例年、年2回、3月と6月に実施してきたが、6月は参加者が少ないので効果が期待できないこともあり、3月のみ実施することとしていたが、令和元年度の3月はコロナの関係で開催できなかったため、D評価とした。

(建設水道部長) 23番 生垣奨励金補助件数は、5件を目標としていたが令和元年度は2件にとどまった。今後は住宅新築補助制度を利用する方にアピールをすることで件数を増やしていきたい。

(健康福祉部長) 57番 夜間保育事業実施園数は、目標数が1か所に対して0か所だったためD評価とした。民間の保育園は保育士不足等で夜間保育事業を行えず、ファミリー・サポート・センターで預かれる体制をとっているが利用件数はない。今後は利用者のニーズを把握しつつ検討していく。

59番 児童館の整備箇所数については、目標数が1か所に対して0か所だったためD評価となっている。石橋児童館は老朽化して新たな児童館を計画し

ている。令和4年度の建築を予定している。

60番子育て応援HP「ママフレ」アクセス数は、ここ数年利用者が減少している。平成30年に子育てに関する情報入手のアンケートを行ったところ、市の広報・ホームページが58%、友人・口コミが30%ということで、ママフレは2%だった。利用率の増加が見込めないことから次回からKPIを削除したいと考えている。子育て安心ハンドブックを発行し好評を得ている。また、AIを使った情報発信などを進めていきたい。

(教育次長) 4 ページ、87番のスポーツ活動の実施率は、平成28年度にスポーツ振興計画を策定したときのアンケートから51.7%を基準とした。令和元年度はアンケート未実施のため実施率が把握できなかった。今年度、アンケートを実施して達成度を測る予定である。

(事務局) 公共交通の整備の取組の満足度は、目標値4に対して実績値2ということで、これは令和元年7月に実施した市民アンケートの満足度である。新たな下野市公共交通連携計画に今回の結果を考慮していく。また、令和元年10月から1市2町を結ぶ広域連携バスの運行が始まった。

(前原委員) 計画書5ページ、PDCAサイクルによる評価・検証はどのようになっているか。合同説明会が開催できなかったからD評価とのことだったが、事業を行った結果、どのような効果があったのか、費用対効果になってくるが、単に回数ではなく効果をお聞きしたい。

(中村会長) KPIをどれだけ厳しくやっているか、ということ。

(前原委員) 3番の企業交流会・講習会の開催回数は、ABCDを見ただけではわからない。

(事務局) 総合戦略については、113のKPIを設定しており、この目標に対してどの程度達成しているかで評価している。毎年度、その進捗状況を報告させていただいている。資料3で、実績、分析を記載している。

(中村会長) 単純な数値だけでなく、実の部分で資料に反映させるよう検討していただきたい、ということかと思う。

(佐間田委員) 51番の児童館の利用者数は、地域の高齢者と世代間交流を実施するとあるがメインはそこではない。また、今後の対応で中学生及び高校生の利用促進とあるが、現状を見て中高生が利用するだろうか。

(健康福祉部長) 児童館は18歳未満を対象とした施設ではあるため、世代間交流として中高生と児童とが一緒に利用できるよう促進していく。

(中村会長) 他にいかがか。それでは次に進めさせていただく。

(6) 地方創生関連交付金事業の取組状況について

(中村会長) 地方創生関連交付金事業の取組み状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料4の修正をお願いします。地方創生拠点整備交付金の(1)「夜明け前」リノベーション事業、(2)グリムの館施設整備事業の平成31年度を令和元年度に訂正する。

資料4、資料4参考資料について説明。

- (中村会長) これらの事業を進めていくうえで、自由にご意見をいただきたい。
期間としてはまだ続いていく。
- (川俣委員) 資料4の3枚目、グリムの館施設整備事業の令和元年度の実績値が赤、マイナスになっている理由は。
- (教育次長) 対前年の増減を表している。グリムの森のイルミネーションを平成30年度は10周年ということで盛大に実施し、来場者数が多くなった。
- (川俣委員) 対前年比だと他の指標と比べて数値の示し方が異なる。
- (事務局) 指標の作りとして見にくさはあると思うが、これで国に申請、採択を受けているので、これで進めさせていただきたい。
- (中村会長) 参考資料でご当地アニメの舞台に立っているのはご当地アイドルか。学生が研究しているのでお聞きした。
- (事務局) アニメの声優である。
- (中村会長) ありがとうございました。

(7) その他

- (中村会長) その他、事務局から何かあるか。今後のスケジュールについては。
- (事務局) 今後のスケジュールは、総合戦略は来年2月17日に審議会を開催したい。令和3年度の事業についてご審議いただきたいと考えている。
- (中村会長) それでは、進行を事務局にお返しする。

6 閉会

- (事務局) 以上をもって第3回下野市総合計画審議会を閉会する。

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会長 (中村 祐司)

中村 祐司

署名委員 (石川 信夫)

石川 信夫

署名委員 (佐間田 香)

佐間田 香